

2009年(平成21年)11月20日(金曜日)

《この人》

「会員からは、実態からかい離しているとの意見もあったが、「こちらが方向

NPO法人設立から4年目で、2代目理事長に就任。「再開発ビルの多くは、さまざま問題を抱えている。解決に向けたお手伝いをしていきたい」と抱負を述べる。そのツールとなるのが、このほど作成した『再開発ビル活性化の処方箋 No.2』だ。処方箋は、ショッピングセンター経営のあるべき姿を提案したもので、2007年に第1弾をまとめた。当時、

会員数増やし全国展開したい



NPO法人再開発ビル活性化ネットワーク理事長

ふじやま まさみち 藤山 正道さん

性を示すことで、さまざまな意見が出る。それを踏まえてより良いものにしていけばいい」という。経営を行うこと、プロパティマネジメント業務を

再開発は728地区ある。このうち8割に商業施設が入っており、それが足を引っ張っている」と指摘し、処方箋No.2では、管理会社、管理組合、ノバティながの(大阪府

河内長野市)では、こうした試みが進んでおり、「実績ができれば、処方箋の内容がより理解してもらえる」と期待を寄せる。

現在、会員数は賛助会員などを合わせて59者だが、「2年後には、新たに設けたネット会員を含めて150者にしたい」と意気込む。また、現在は関西の会員がほとんどだが、「全国展開したい」とも。

1968年青山学院大経済学部卒。住友商事建設不動産本部副本部長や住商アーバン開発社長を務め、多数の再開発プロジェクトに携わってきた。愛媛県出身、64歳。